

内なる対話～「意味ある世間話」となるや、否や?!～

堂本 彰夫

⑬ 「近代」について?!それを目指して、日本が歩んできた道は間違っていない?!

I : もう随分前になりますが、ヤフーニュース (11/9 (水) 15:10 配信 Newsweek) で、<多くの先進国で近代や資本主義を否定することが一種の流行になっているが…>という記事を見ました。「この頃の日本は、気のめいることばかり。隣の中国のGDPは日本の4倍、韓国は1人当たりGDPで日本を近く抜き去る勢い。北朝鮮は日本の頭上にミサイルを飛ばして、『日本は目じゃない』と平然。国内は、アベノミクスの積み残しのゼロ金利にしがみついて、インフレの垂れ流し。自分たちはもう駄目なのか。いったい、何を指してどこに行こうとしているのか、さっぱり分からない。…」と、そういうことでした?!

D : 言われてみれば、そうかもしれませんね! それに加えて、新型コロナウイルスへの対応 (右往左往?)、そして、「カネ」にまつわる、政治家や業界屋の恥辱等、数え上げれば、キリがない?! さらにまた、ロシアによるウクライナ侵攻、そして、それに伴う物価高騰、数々の余波・悪影響の到来?! 本当に、この先、日本は、どうなっていくのだ? という懸念や不安は、募る一方ですよ?!

I : そんな中で、オリンピック・パラリンピックや世界バレー、そして、サッカー・ワールドカップでの日本代表の快挙とか、束の間の歓喜が入り込んでいるわけですが、全体としては、やはり暗い、出口の見えない社会の空気が漂っているということは確かですよ?! 余計なことですが、そういう世相を反映してか?、学校の先生達は、心の病を募らせている?! もちろん、子ども達もそうですが (引きこもりや不登校は、過去最高となっている?) …!

D : 要は、みんなが、何か閉塞感、疲労感を抱いている?! そうとも言えるのかもしれませんが?! これも、明治維新後、日本が突き進んできた、いわゆる「近代化」の成れの果てだということであれば、何とも歯痒い、そして悔しい結果となりますよね?!

I : そういうことですよ?! この間、多くの人達の思い、苦悩が積み重なっているわけですが、何のために頑張ってきたのか、そして、尊い命を捧げてきたのか? そんなことさえ、思ったりもしますよね?! 一言で言えば、多くの人の犠牲の上に、今の我々の生活が実現されている?!

D : もちろん、私達二人は、1950年代初頭の生まれですので、それ以前の人達の苦勞や苦悩は、直接には分からないわけですが (「貧乏」だけは、共有していた?)、幸せや豊かさを求めて、全員が歯を食いしばって頑張ってきた! それが、私達の「近代」であったわけですよ?!

I : だから、途中不幸な戦争があったとしても (ただし、単純な総括は慎まなければいけないが!)、「日本が歩んだ道は、決して間違っていない」?! そういうことになりますよね?!

D : しかも、東南アジア諸国を筆頭に、日本は、周辺諸国の経済近代化にも大きな役割を果たしてきた。もっと自信を持ったらいい。日本の歩んできたコースは間違っていなかったし、いま歩んでいる方向も、間違っていない?! しかし、日本は変わった?! そして、今の世界で、多くの先進国は方向性を見失っている?! 民主主義はポピュリズムに変質し、資本主義は格差を広げるばかり…?!

I : だから、「近代」や資本主義を否定することが、一種の流行ともなっている?! もったいない?! 「近代」の産業革命が大きな中産階級を創出し、それが民主主義を支えてきたのであるが、格差も、カネでカネを生む金融資本主義が生むもので、近代の産業革命は、むしろ格差を縮小した! その近代を否定するのは、自分を足から食らっていくようなもの?! そういうことなのでしょうね?!

D : ただし、日本では、欧米諸国ほど、金融資本主義は育っていない。だから、青年世代に育つ健全な感覚に期待しよう! いつまでも、過去の栄光にしがみつくのはよそう! そういうことでもあろうかと思えます! とは言え、肝心の、その青年世代が見えない? 否、危ういとも言える?! (つづく)